

食料・エネルギーに関する地産国消等の
取り組み事例紹介

JA岡山との連携による
環境循環型農業の推進

令和7年10月8日
(株) 大本組 岡山支店

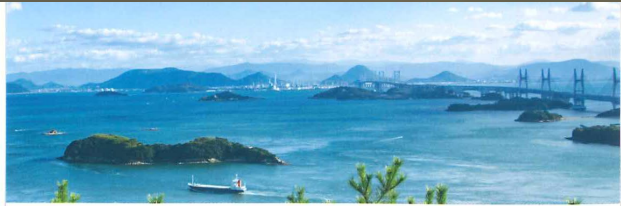
**(株) 大本組は
食料分野の社会貢献の
一つとして
JA岡山が進める
「瀬戸内かきがらアグリ」の
活動に参画しています**

- 「瀬戸内かきがらアグリ」は
 - ・瀬戸内海で育てられたカキの殻を畑の土壌改良材等として活用
 - ・併せてそのことにより川、海の水質改善や牡蛎の生産性向上を図る

という循環型の生産システムです

(株) 大本組はこの活動推進のための協議会に参画し

- **生産された農産物のPR**
- **活動資金に対する寄付等を行っています**



里海とは人手が加わることによって
生物多様性と生産性が
高くなった沿岸海域のことと定義されています。

わたしたちの里海・瀬戸内海では
身をとったあとに残る大量の牡蠣殻が山積み



里海・瀬戸内海は牡蠣の良質な産地です。身をとったあとには大量の牡蠣殻が残りますが、それらが廃棄を前にして山積みとなっており、有効活用することが課題でした。



牡蠣は天然のろ過装置と言われるほどの
驚異的な浄化能力を持っています。



牡蠣1個が1日に
体内に取り込んで
浄化する海水の量 **300ℓ**
= 2ℓ ペットボトル150本分!

牡蠣殻は栄養を豊富に含んでおり
田畑の土壌改良材や家畜の飼料として
使用すれば効果的だとされています。

牡蠣殻を水稲に
施用した場合



施用
なし



根張りが
良い!!
施用
あり

こんなに役立つ牡蠣殻を ↓ 捨てるのはもったいない!

里海である瀬戸内海で育てられた
牡蠣殻=かきがらを廃棄せずに有効利用するのが
瀬戸内かきがらアグリ事業なのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

わたしたちはSDGsの目標達成に取り組んでいます。



教育現場での「里海米」生産の取り組み/廃棄物の有効利用(再利用)/食品ロスの削減につながる持続可能な取り組み/「地産地消」の推進/持続可能な資源循環/生物多様性と浄化作用/コズマーケティングによる里海再生活動/農業と漁業が連携した事業/異業種企業との連携/官・民連携事業

◆「瀬戸内かきがらアグリ基金」の積み立て&活用

対象となる里海米には1ポイントを示す認定商品マークが付けられ、1ポイント=1円として購入金額から1円が基金に寄付されます。積み立てられた寄付金は「食べてまもる!瀬戸内海」をスローガンに、里海再生活動に活用されます。



◆わたしたちは「里海づくり」を応援しています。



地元の漁協や地域の方々と瀬戸内海における種まきや採取、選別などのアマモ再生活動に参加し「里海づくり」を応援しています。

◆受賞の一例



◆ 瀬戸内かきがらアグリ

これは瀬戸内かきがらアグリ事業のロゴマークであり、同時に本事業のもとで育てられた農畜産物=瀬戸内かきがらアグリ認定商品の証でもあります。

公式ホームページ
satoumi.jp



公式 Facebook
https://www.facebook.com/satoumi.jp/



J A 全農おかやま 岡山市北区唐屋町9番18-201号
Tel.086-234-6876 Fax.086-231-6256



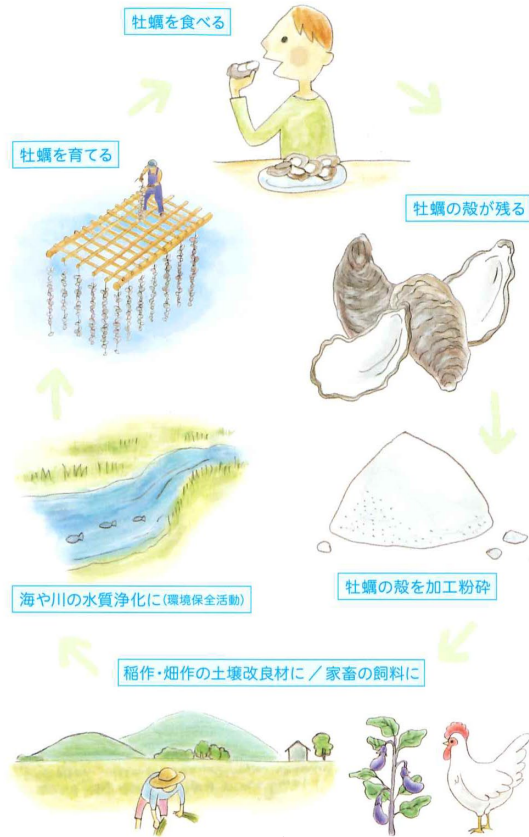
瀬戸内の海とつながる



瀬戸内
かきがら
アグリ

おかやまの農畜産物

◆瀬戸内かきからアグリのお楽しみ



地域循環環境保全型事業・
瀬戸内かきからアグリによって
農畜産物にこれまでなかった価値が加わりました。

この事業は、瀬戸内のかきがらを地元で有効利用して循環型のアグリ事業に取り組み、同時に海や河川、田んぼ、畑、森林といった岡山の自然や瀬戸内海という「里海」を守るための挑戦です。本事業で育てられた米・野菜・卵などの岡山県産農畜産物は、「里海」の名を冠したブランド商品として販売しています。里海シリーズの農畜産物は、これらを購入して食べるだけで、専門家でなくともわたしたちの里海・瀬戸内海や岡山の自然、農業・漁業を守る活動に参加できる、という価値を持っています。



里海米 SATOUMI

当事業の第一号商品として生産・消費拡大を進めてきたお米です。里海米の生産で再利用されたかきからの量は、2016年からの累計で約900tになりました(※)。いまでは様々な品種の里海米が、岡山県のブランド米として県内全域において生産されています。

※[試算方法]反収：約8.5俵、かきから施用量：60 kg/反

◆教育現場での取り組み



当事業がSDGsの目標実現につながる取り組みであるとして、学校教育現場での採用も増えつつあります。例えば学校給食における里海米の使用や、里海米の生産から販売を生徒自らが行うプログラムの実習などが行われ、里海の大切さを若い世代へ地道に伝えています。

◆行政との取り組み

その地方自治体で生産された里海米を独自ブランド化し、生産・消費拡大を進める取り組みが広がっています。

里海卵 SATOUMI



岡山県内量販店で販売をしています。岡山駅構内さんすて岡山「みるのダイニングさんすて岡山店」では、提供される料理に里海卵を使用しており、お店でその味を楽しむことができます。

里海野菜 SATO VEGE



令和3年秋に第一弾として、「千両なす」での取り組みがスタート。グリーンリーフ・サニーレタス・タマネギ・キャベツなどの生産も進んでおり、野菜のバリエーションが増えつつあります。

里海酒 SATOUMI



里海米の酒米を原料とした日本酒の製造販売が、当事業に賛同するかたちで行われています。日本酒愛好者からも高い評価を得て、出荷数量も年々増加しています。

3.商品規格書

里海米ノベルティ(岡山県産)【カード型】



約26cm

約10cm

使用原料 岡山県産きぬむすめ (里海米)

内容量 300g

仕様 無洗米

窒素充填・脱気パック

賞味期限 精米日から180日

サイズ サイズ：縦260×横100×幅10mm

その他 コーズマーケティング対象商品

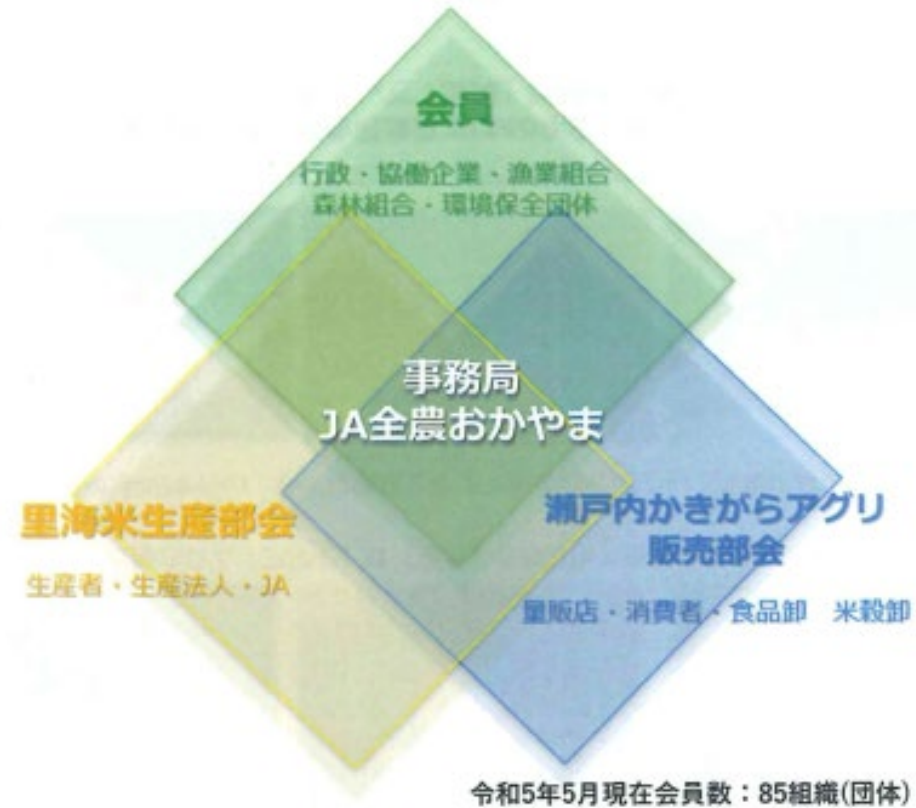


1個につき1円が里海を守る活動の基金に積み立てられます (コーズマーケティング対象商品)。

こんな企業様へおススメ!

- ・SDGsへの取組のPRを行いたい
- ・よりこだわりの商品でインパクトを強めたい

○瀬戸内かきからアグリ推進協議会フロー



- ◆ 里海農畜産物の生産から販売まで一貫したバリューチェーンの構築を進めます。
- ◆ 森里川海をつなげアマモ再生活動などの環境保全に積極的に取り組みます。

活動に至る背景

- 活動を始めるにあたりより効果的な進め方に関するご助言をご当局（中国四国農政局）から賜りました
- いくつかのご示唆をいただきましたがその中でJA岡山様の「瀬戸内かきからアグリ」がありました
- 当該取り組みは第9回ディスカバー農山漁村の宝において優秀賞を受賞した優れた取り組みです
- 社内検討を経て取り組み開始に至りました

むら
ディスカバー農山漁村の宝
(第9回応募団体)
取組事例集

これからは、農山漁村の時代だ。



令和5年3月
中国四国農政局

岡山県

2 岡山県岡山市

農業 企業との連携 環境保全

瀬戸内かきがらアグリ推進協議会
～瀬戸内の海とつながる、おかやまの農畜産物～



- | 経緯 | 取組内容 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年、かき殻資材がお米の品質向上につながるが話題。 ○全国の産地では、産地間競争の激化を見据えた様々な取組みを強化。 ○岡山では、廃棄物のかき殻を利用し、お米の品質・生産性を高める取組みをブランド化する活動を開始。 | <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物のかき殻を、農業者の手により資源循環させ、農畜産物を生産し、生産物に「里海」を冠してブランディングを実施。 ○平成30年に協議会を設立し、生産から消費までのバリューチェーンを構築。 ○収益の一部を基金化し、里海再生活動を支援。 |

- 活動の効果**
- 漁業関係者のみならず、地域の大きな悩みであったかき殻を有効活用し、生産から消費までのバリューチェーンの中で、新たな価値を創出。
 - 里海米に続き、里海卵、里海野菜の取組みも開始し、かき殻の利用範囲を拡大。
 - 里海再生活動(アマモ再生活動)を支援する取組みを積極的に行うことにより、多くの人が活動に参画。
 - 今まで農畜産物の流通に関与していなかった異業種企業や高校生等との協働により、新たな取組みを創出。

応募団体からのアピール・メッセージ

瀬戸内かきがらアグリの取組は、県内だけでなく瀬戸内沿岸の地域、全国に普及させ、かき殻の再利用を進めます。

瀬戸内かきがらアグリの活動は、森・里・川・海の連携した取組みとして、農業と漁業、地域・企業・人をつなげ、地域全体が活性化し、全ての人々が笑顔でつながる持続可能取組みとなることを目指します。

岡山市北区磨屋町9番18-201 全国農業協同組合連合会岡山県本部 Tel: 086-234-6876

ありがとうございました

